



RUNEXY[®]

Run in the Next!

建設業のセキュリティ強化をサポートする バックアップ・リカバリーソリューション

建設現場におけるセキュリティ対策の必要性

建設現場における 情報セキュリティガイドライン

- (1) ITの導入活用拡大に伴う情報セキュリティリスクの増大
建設業でのITの普及により情報漏えい、コンピュータウィルスの感染、ソフトウェアの不正利用・違法コピーなどの情報セキュリティリスクが増大
- (2) 法的規制や各種ルールの強化に伴う法的リスクの増大
個人情報保護法などITを利用する上では、法やルールの遵守が必要
- (3) 建設現場の特殊性に起因する情報セキュリティ対策上の制約
特殊性のある建設現場を取り巻く環境を正しく認識し、適切な情報セキュリティ対策を実施する必要がある

被害にあってしまうと…

【被害例①】

鉄道関連工事業（2020年10月）
保有していたサーバーの約95%が
ランサムウェアによる攻撃被害



【被害例②】

建設関連一般財団法人(2022年9月)
emotet感染による情報の外部流出

建設業での必須の対策 【建設現場ネットワークの構築と運用ガイドライン】

4. セキュリティ対策 4.6 バックアップ・リカバリー対策

故障やウイルス感染等により、パソコンやサーバーが使えなくなることがある。また、盗難や自然災害等により、機器そのものが消失してしまうことも考えられる。そういった不慮の事故に対応するために、データのバックアップが重要である。

202425月 改定 【建設現場ネットワークの構築と運用ガイドライン】より

【建設現場ネットワークの構築と運用ガイドライン】に対応した簡単な
バックアップソフト

ActiveImageTM-RE
PROTECTOR

ActiveImage Protector -RE オススメ ポイント

初心者でも安心の「かんたん操作」

直観的に操作可能なGUIを採用しているので、初めての方でも簡単に設定可能！



【3-2-1ルール】を活用しバックアップを分散

バックアップファイルをActiveImage Protector -REで対応しているLTOテープやRDXカートリッジなどの外部メディアにコピーすることで、バックアップを分散することが可能！



クラウドバックアップで迅速なシステム復旧

BCP対策リーフレットで作成中のクラウドバックアップ資料を差し込み

<https://www.activeimage-re.com/>

【お問い合わせはコチラ！】
株式会社ラネクシー ActiveImage -RE 担当宛
⇒aipre_sales@runexy.co.jp



Webミーティングも
お気軽にご相談ください！

